

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○高橋 由紀 志水 朱 池森 康裕

【概 要】

介護実習 ・ ・ を踏まえ他者とのディスカッション、プロセスレコードを通して自己を客観的に振り返り、課題を明確にできるよう学習する。生活者をどのようにとらえるか、利用者の生活ニーズを整理・理解でき、介護福祉士に求められる倫理性と専門性を明確化し、理解することができるよう学習する。

【学習目標】

1. 福祉専門職としての自覚を促し、専門職に求められる資質、技能及び自己に求められる課題把握など、総合的対応能力を習得することができる。
2. 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義と方法を理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	分野別対象者理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習 個人課題作成 個人票作成	高橋 志水 池森
2	分野別対象者理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習 個人課題を達成するための事前学習	高橋 志水 池森
3	事前訪問	実習施設訪問 個人票、個人課題を提出 実習に向けて必要な学習内容や準備すべきことなど調整	高橋 志水 池森
4	分野別対象者理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習 個人課題を達成するための事前学習	高橋 志水 池森
5	分野別対象者理解	実習先の利用者を理解するため、心身の障害、疾病、介護過程などについての学習 個人課題を達成するための事前学習	高橋 志水 池森
6	リスクマネジメント	リスクマネジメントの理解	高橋
7	実習の留意事項と学習について	実習中の留意事項と学習について 記録用紙の配布と記入時の確認 実習報告会の各係を決定 実習報告書の作成日程などの確認	高橋 志水 池森
8	実習の振り返り	介護過程の検討	高橋 志水 池森
9	実習の振り返り	介護過程の検討	高橋 志水 池森
10	実習の振り返り	実習の振り返りと記録物の整理	高橋 志水 池森
11	実習の振り返り	実習の振り返りと記録物の整理	高橋 志水 池森
12	実習の振り返り	実習報告会準備 報告書の作成	高橋 志水 池森
13	実習の振り返り	実習報告会準備 報告書の作成	高橋 志水 池森
14	実習報告会	介護実習 実習報告会	高橋 志水 池森
15	実習報告会	介護実習 実習報告会	高橋 志水 池森

【評価方法】

学習態度30% レポート等の提出の有無30% それらの内容評価40%とする。
なお、評価に関しては複数の実習担当者の合議により行う。

【備 考】

教科書 : 特に使用しない

参考書 : 介護用語辞典を活用する。
介護福祉士養成講座編集委員会(編): 最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』中央法規 2019

その他 : 介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【学習の準備】

介護実習 . . . の実習記録を見直し、課題を明確にする。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【その他】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【実務経験】

高橋 由紀(介護福祉士) 志水 朱(社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士) 池森 康裕(介護福祉士・社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。